

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 美術 ） 学年（ 1 学年 ）

目指す授業

- 基礎的・基本的な知識と技術や多様な表現の美しさを理解して、豊かに発想し創造する授業。
- 感じたことを言語化し、表現することができる授業。
- 完成までの行程を見通し、制作過程そのものを自分で工夫修正することができる授業。



授業・アンケート等の課題分析

- 「美術の授業に積極的に取り組んでいる」「美術の授業はわかった・できた」について、積極的に取り組んだ、できた、わかったに8割以上の生徒が答えており、生徒が主体的に制作に取り組んでいた、そして授業のめあてを理解して授業に取り組んでいたと分析する。



成果と課題

- 課題に対する意識や取り組みへの集中力が向上した。制作時間と課題の提出日について考え、計画的に先の見通しを持って制作する意識が身につき、自ずと集中して制作に取り組むことが大切であることを多くの生徒が理解し実践することができていた。また、生活する中で美術に触れた時、既習した内容や制作した作品とリンクすることがあったと複数の生徒がふり返っていたことから、今後の生活の中で授業で学習した内容を想起したり活用したりできる力が身についたと思われる。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 美術 ） 学年（ 2 学年 ）

目指す授業

- 基礎的・基本的な知識と技術や多様な表現の美しさを理解して、豊かに発想し創造する授業。
- 感じたことを言語化し、表現することができる授業。
- 完成までの行程を見通し、制作過程そのものを自分で工夫修正する授業。



授業・アンケート等の課題分析

- どの項目に対しても8割以上の生徒が、できる・わかるまたは、どちらかといえば当てはまる・当てはまるに回答しており、意欲的に授業に参加し取り組んだと分析する。上級生にあがる意識が高まってきてアンケート1回目よりも2回目にかけて「当てはまる」の数値が上がった。話し合い活動を小グループで入れることによって、自分の意見が少しでも言える機会を増やしたが、まだ意見を発表する生徒が少ないので、進級後の授業では強化していく。



成果と課題

- 3学期になって、課題制作の授業時数を見通しその授業時数の中で作品を完成させることを、大切に理解できるようになり課題制作時の集中力が向上した。設定した授業時数内で完成しない生徒がいると、話し合い活動の時数分を制作時数に補填することになり、発表の時間が少なくなってしまった。また、作品提出期日に未完成であってもそのままにしていた生徒が、提出することの大切さを理解し注意し取り組み始めた。3月に入ってからは、もっとできるようになりたい・わかりたいと思っている生徒が増え、相談にのるような場面が増え進級したら頑張る！という意識が高まっている。

令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 美術 ） 学年（ 3 学年 ）

目指す授業

- 基礎的・基本的な知識と技術や多様な表現の美しさを理解して、豊かに発想し創造する授業。
- 感じたことを言語化し、表現することができる授業。
- 完成までの行程を見通し、制作過程そのものを自分で工夫修正する授業。



授業・アンケート等の課題分析

- どの項目に対しても8割以上の生徒が、できる・わかるまたは、どちらかといえば当てはまる・当てはまるに回答しており、意欲的に授業に参加する生徒が多いと分析する。しかし、普段の授業で行っている活動が当てはまらないと答える生徒が増え、授業での説明や声かけがもっと必要である。



成果と課題

- 1年間通して、比較的美術の授業を楽しみながら取り組んでいる生徒が多かった。設定した授業時数内で完成しない生徒がいると、話し合い活動の時数分を制作時数に補填することになり、発表の時間が少なくなって簡略化しての形になってしまった。取り組みの時数を意識して、時間内に制作することの大切さを繰り返し指導していく。また、片付けや絵の具をグループごとに使用させることで、共同制作的な活動ができたので進級後も継続し、共同制作活動につなげたい。
もっとできるようになりたい・わかりたいと思っている生徒が多く、意欲的な生徒への手立てと、複数回欠席した生徒への手立てを課題とする。